

トルコの製造業には、ネット輸出比率がプラスの業種は19業種のうち5つに過ぎず、外貨を稼ぐ企業が少ない（表7参照）。

結び

トルコは、製造業の国内経済に対する貢献が相対的に少ない。これは、輸入中間財に依存する割合が高く、組み立て産業の域にとどまっていることによる。今後、中間財輸入を減少させるため裾野産業を発展させ、国内における中間原材料の調達割合を高め、付加価値率を上げることが肝要と考える。EUとの関税同盟により国内産業保護政策が実施困難であることから、輸入代替工業化は困難が伴うと見られるが、産業の裾野を広げ、同時に高度化を図らなければ、組み立て型工業の低付加価値構造からは脱却できず、純輸出の拡大、つまり輸出を拡大し、輸入を減少させることは困難であろう。地道な経済構造の変革により、外資に依存する経済構造を変革して行くことが肝要であろう。

注

- 1 人口増加率：1927-1945（1.8%）、1945-1985（2.5%）、1985-2010（1.8%）、2010-2018（1.34%）、2016（1.35%）、2017（1.24%）、2018（1.47%）、2019（1.39%）、2019-2025（1.16%）、2019-2050（0.76）トルコ統計機構資料より計算
- 2 実質GDP = 実質GDP/人口 × 人口 という関係より、
 経済成長率 ≡ 一人当たり実質GDP増加率 + 人口増加率
 ≡ 労働生産性 + 人口増加率
 つまり、経済成長率は労働生産性上昇率と人口増加率の和に近似する。